

JR大湊線に関するアンケート調査票

JR大湊線は、下北・上北圏域において、通学・通院・買物・観光などの地域経済や生活環境を支える公共交通機関として重要な役割を担っている路線であります。

JR大湊線活性化協議会では、JR大湊線がこれまで以上に地域の皆様に愛され、地域内外のたくさんの方に利用していただける路線となるよう、利用促進に向けたアンケート調査を実施いたします。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和5年12月 JR大湊線活性化協議会

【本アンケート調査について】

- (1) 本アンケートは、令和5年10月31日時点で、**下北地域**（むつ市・大間町・東通村・風間浦村・佐井村）及び**上北地域**（野辺地町・横浜町・東北町・七戸町・六ヶ所村）**にお住まいの15歳以上の方から無作為に抽出し、送付させていただきました。**
※ご本人様がお答え出来ない場合は、代わりにご家族やご友人の方がお答えください。
- (2) 回答は、**選択肢の中からあてはまる番号を選び、回答欄にその番号を記入**してください。
※なお、設問ごとに回答する番号の数など、回答方法が指定されていますので、ご注意ください。
- (3) 設問数は11問、回答にかかる時間の目安は10分程度です。
- (4) 回答後は、アンケート用紙を、**同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、令和6年1月31日（水）までに、郵便ポストに投函**してください。
- (5) 本アンケートは無記名の調査であり、ご回答を頂いた内容は全て統計的に処理しますので、個人を特定するような情報は一切公開されません。

【お問い合わせ先】

- ◆ JR大湊線活性化協議会事務局（むつ市 企画政策部 企画調整課内）
TEL：0175-22-1111（内線2313）、E-mail：mt-kikaku@city.mutsu.lg.jp

1 あなた自身について

【問1】あなた自身のことについてお伺いします。（回答する番号は1つ）

項目	選択肢	回答欄
性別	① 男性 ② 女性 ③ その他	
年齢	① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上	
職業	① 会社員 ② 公務員 ③ 団体職員 ④ 自営業 ⑤ 主婦・主夫 ⑥ パート・アルバイト ⑦ 学生 ⑧ 無職 ⑨ その他	
居住地域	【下北地域】 ① むつ市 ② むつ市川内 ③ むつ市大畑 ④ むつ市脇野沢 ⑤ 大間町 ⑥ 東通村 ⑦ 風間浦村 ⑧ 佐井村 【上北地域】 ⑨ 野辺地町 ⑩ 横浜町 ⑪ 東北町 ⑫ 七戸町 ⑬ 六ヶ所村	
自動車運転免許の有無	① 有り ② 無し	
自家用車の保有の有無	① 有り ② 無し	

3 JR大湊線のサービス改善策について

【問4】あなたが必要だと思う「JR大湊線のサービス改善策」を最大で5つまで、下表の①～⑳の中から番号を選び、回答欄に番号を記入ください。

※（ ）がある選択肢を回答した場合は、（ ）内に具体的な回答を記入してください。

項目	選択肢
(1)運行本数の増加	① 平日の運行本数の増便 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ② 休日の運行本数の増便 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ③ 地域のお祭りやイベント開催時の増便運行
(2)運行時刻の改善	④ 始発の運行時刻の改善 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑤ 終発の運行時刻の改善 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑥ 分かりやすい周期的な運行時刻にする ※例）8時00分、9時00分
(3)利用料金の軽減	⑦ 運賃の割引 ・具体的な割引額（ 円⇒ 円） ⑧ 他の公共交通機関との乗り継ぎ時の運賃割引 ⑨ 周辺施設を利用した際の料金割引 ⑩ 地域のお祭りやイベント開催時の運賃割引
(4)鉄道・路線バス等との乗り継ぎ改善	⑪ 青い森鉄道との乗り継ぎ時間の改善 ⑫ 八戸駅直通便(快速しもきた)の増便 ⑬ 他の公共交通機関との乗り継ぎの場所や運行時刻等の情報提供の改善
(5)駅の駐車場や駐輪場の改善	⑭ 駅の駐車場の規模拡大 ⑮ 駅の駐輪場の規模拡大
(6)所要時間の短縮	⑯ 快速列車の運行の追加 ・具体的な時間帯⇒（ 時 分頃） ⑰ 新駅の設置 ・具体的な地域 ⇒（ 地域）
(7)運行車両の改善	⑱ 運行車両の増加 ⑲ 車両内の環境改善 ※例：冷暖房、トイレ ⑳ 車両内でのイベントやグッズ販売 ㉑ サイクルトレイン（車両内への自転車の持ち込み）
(8)駅舎の改善	㉒ Suica（モバイル Suica）への対応 ㉓ みどりの窓口の設置 ㉔ 駅舎内の環境改善 ※例：冷暖房、トイレ
(9)その他	㉕ その他（ ）
回 答 欄	

【問5】問4で選択したサービスの向上によって、あなたのJR大湊線の利用回数は増えますか。
（回答する番号は1つ）

選択肢	回答欄
① サービスの向上によって、利用が増える ⇒ 問6の回答後、問8以降を回答	
② 分からない ⇒ 問8以降を回答	

【問6】問5で「サービスの向上によって、利用が増える」を選択された方にお伺いします。
（回答する番号は1つ）※その他を選択した場合は（ ）内にその内容を記入してください。

項目	選択肢	回答欄
(1)利用頻度はどの程度増えますか	① 週5日以上 ② 週4日 ③ 週3日 ④ 週2日 ⑤ 週1日 ⑥ 月2～3回 ⑦ 月1回 ⑧ 年3～4回 ⑨ 半年に1回 ⑩ 年1回	
(2)どのような利用目的が増えますか	① 通勤 ② 通学 ③ 買物 ④ 通院 ⑤ 食事 ⑥ 趣味・娯楽 ⑦ 観光 ⑧ 出張 ⑨ イベント ⑩ その他（ ）	

【問7】問2で「② 全く利用していない」を選択された方にお伺いします。

JR大湊線を利用していない理由をお答えください。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 日常生活の中でJR大湊線を利用する目的がないから ② JR大湊線を利用する魅力的なイベントや観光地などが無いから ③ 自家用車利用の方が便利だから ④ 他の公共交通(バス・タクシー)利用の方が便利だから ⑤ その他()	

4 JR大湊線に対する考えについて

【問8】JR東日本では、地域の方に現状を御理解いただくとともに、持続可能な交通体系を建設的に議論していくため、令和4年7月28日、2019年度実績において平均通過人員が2,000人/日未満の利用の少ない線区を初めて公表しています。あなたは、JR大湊線がその対象線区の一つとなっていることを知っていますか。(回答する番号は1つ)

※JR大湊線の平均通過人員(2019年度)533人/日

選択肢	回答欄
① 知っていた ② 知らなかった	

【問9】あなたは、現在のJR大湊線について、どのようにお考えですか。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 生活路線として必要 ② 観光路線として必要 ③ 生活・観光両方の面で必要 ④ できればあった方がよい ⑤ なくても困らない ⑥ 必要ない ⑦ その他()	

【問10】今後、JR大湊線の運行を安定して継続させていくためには、地域全体で支えていくことが必要と考えます。あなたのご協力いただけることはありますか。(回答する番号は1つ)

※その他を選択した場合は()内にその内容を記入してください。

選択肢	回答欄
① 積極的な鉄道の利用 ② ボランティア活動 ※例:駅や駐車場の清掃、花壇の整備 等 ③ 駅や周辺地域の活性化イベントの企画・開催 ※例:物販、作品の展示 等 ④ 金銭的な負担 ※例:寄附 等 ⑤ その他() ⑥ 特になし	

【問11】JR大湊線が、地域の皆様をはじめ、地域外の方にも愛され、利用していただくためのアイデアを募集します。具体的なアイデアがございましたらご記入ください。

自由記載

アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。